

## 船員保険の中期的財政収支見通しについて (加入者集団の見通し編)

### (検討の趣旨)

加入者集団として見た場合の船員保険の特徴としては、次の2点が挙げられる。

#### (1) 加入者集団の規模の縮小

加入者数は1971(昭和46)年度をピークに減少傾向が続いている。(参考1)

#### (2) 年齢構成の高齢化の進展

被保険者の年齢構成に占める中高年齢者の割合が高く、50歳代後半の年齢層にのみピークを持つ分布となっている。(参考2)

(注) 上記の2点の特徴は外航、内航、漁業を通じた共通のもの。

加入者集団としての上記の特徴(特に高齢化の進展)は、財政収支面ではマイナスに働くことが予想されるので、中長期的財政収支見通しを踏まえた事業運営のあり方を考え、実施することが重要。

このような視点から、今後5年程度の中期的財政収支見通しを検討することとし、今回は加入者数等の推移について推計を行った。

### 1. 推計に当たったの主な前提

被保険者数の推移について

平成19年～平成21年までの年齢別の伸び(減少)率がそのまま推移すると仮定。

### 2. 将来推計の基本的な枠組みや推計方法等

直近(平成22年4月)までの実績を基に平成22年度及び平成23年度を推計し、その上で平成23年度を基準として平成24年度～平成28年度を推計した。

一般被保険者と疾病任意継続被保険者に区分して推計を行った。

一般被保険者数は、年齢別の被保険者数に対する年齢別の資格取得割合及び資格喪失割合の平成 19 年～平成 21 年（各々9 月時点実績）の平均値を年齢別の被保険者数に乗じることにより、推計を行った。

疾病任意継続被保険者は、平成 21 年の年齢別の一般被保険者に対する疾病任意継続被保険者の割合を推計後の一般被保険者数に乗じることにより推計を行った。

被扶養者数は、推計した年齢別の被保険者数に、平成 21 年 9 月の年齢階層毎の扶養率を乗じることにより推計を行った。

### 3 . 推計の結果

#### ( 1 ) 被保険者数（一般被保険者及び疾病任意継続被保険者）

( 単位:人 )

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
被保険者数	59,998	59,031	58,062	57,094	56,151	55,219
対前年伸率	1.4%	1.6%	1.6%	1.7%	1.7%	1.7%
平均年齢	47.8 歳	47.8 歳	47.7 歳	47.6 歳	47.4 歳	47.2 歳

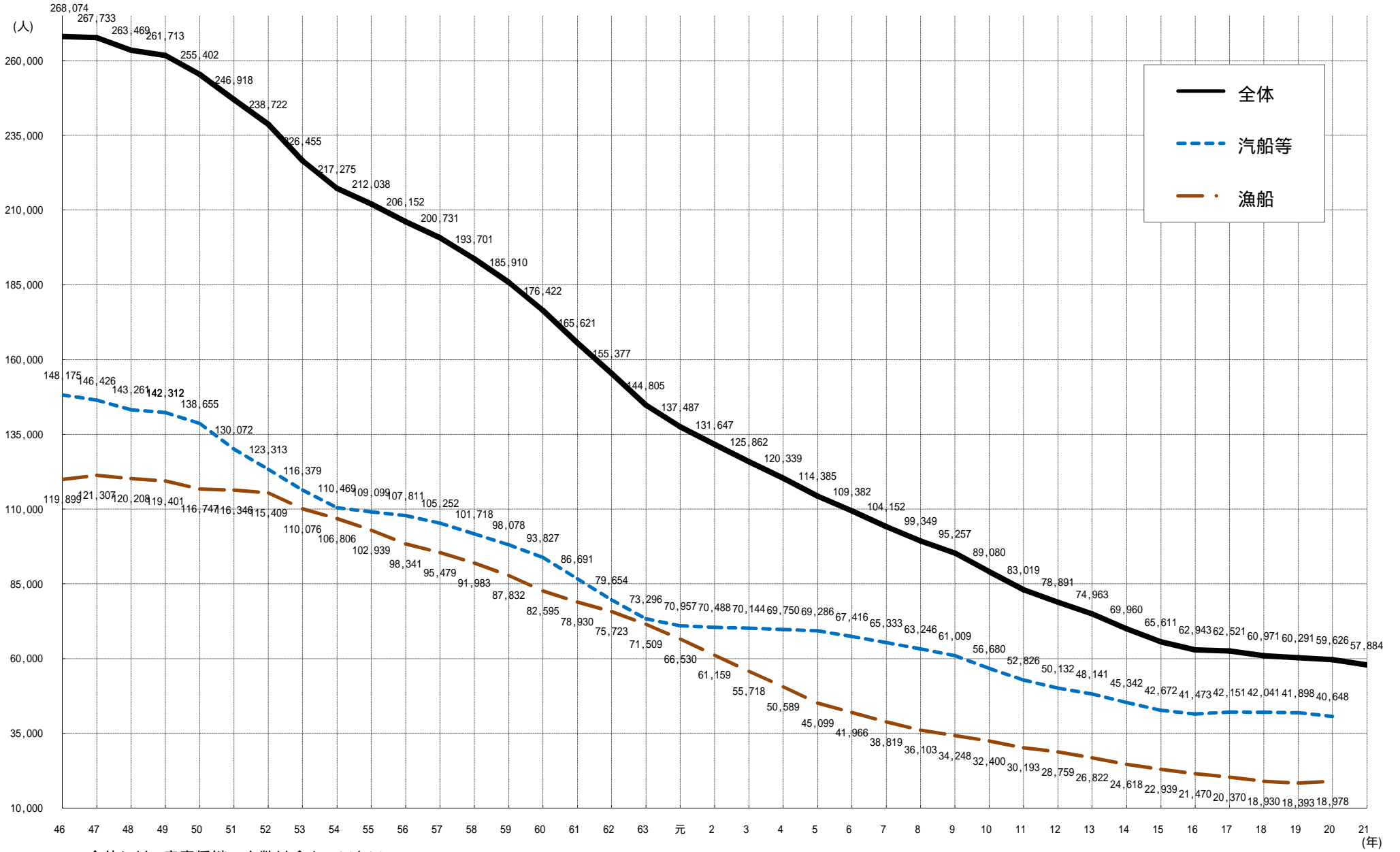
#### ( 2 ) 被扶養者数（一般被保険者及び疾病任意継続被保険者）

( 単位:人 )

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
被扶養者数	76,778	75,219	73,865	72,610	71,449	70,469
対前年伸率		2.0%	1.8%	1.7%	1.6%	1.4%

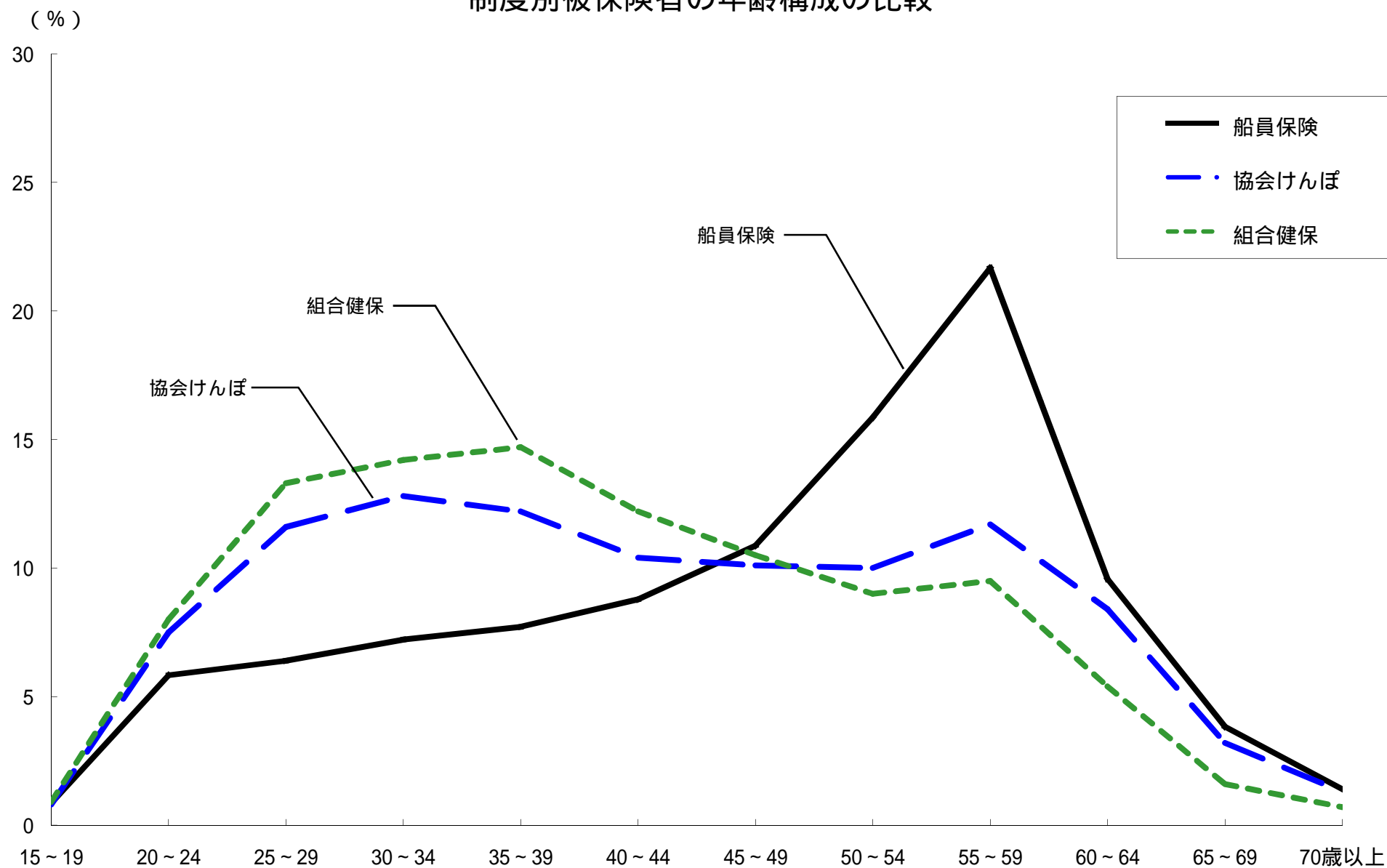
# 船員保険年度別被保険者数の推移（年間平均）

< 参考 1 >



全体には、疾病任継の人数は含んでいない。

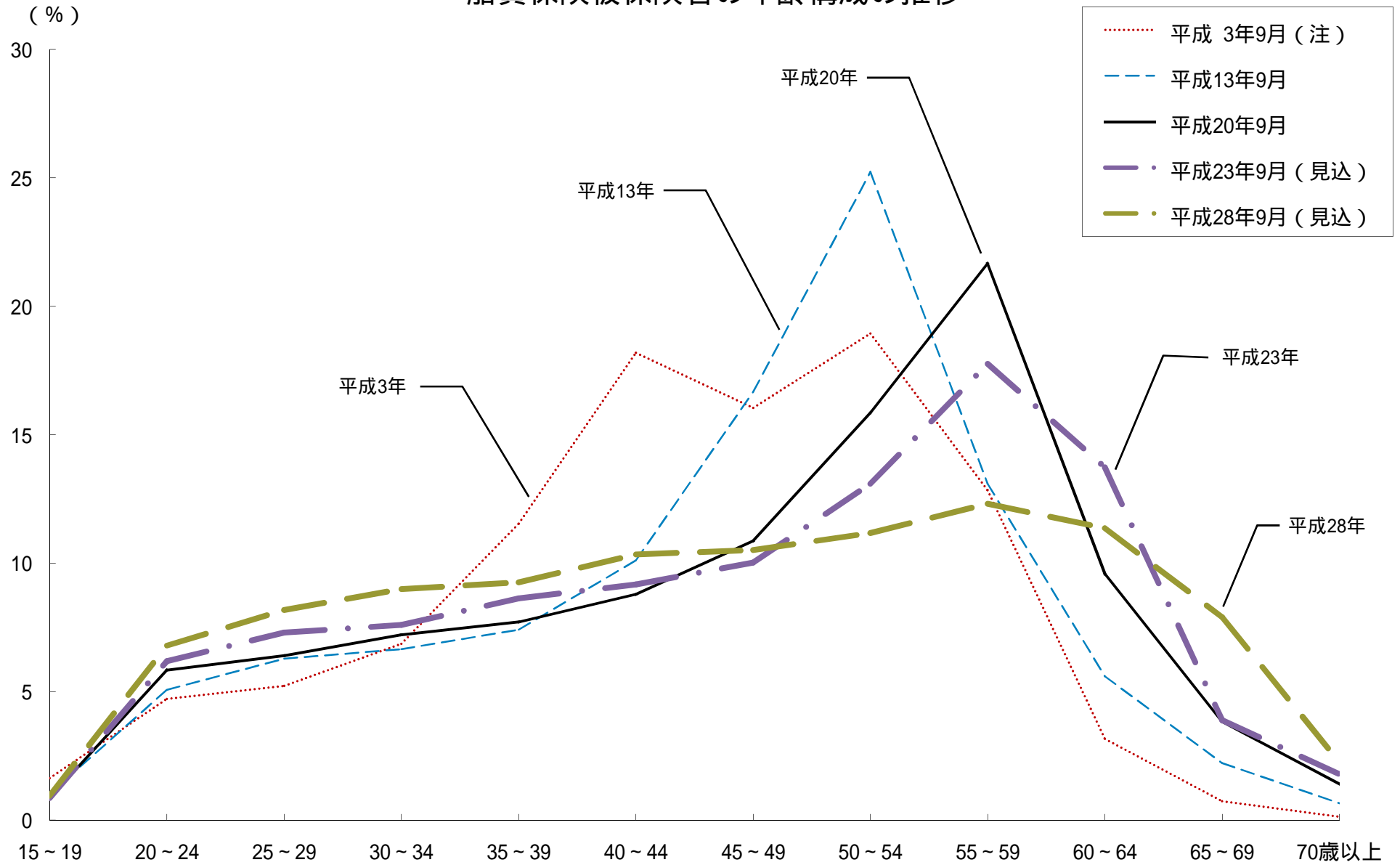
### 制度別被保険者の年齢構成の比較



(注1) 船員保険は平成20年9月末日現在である。

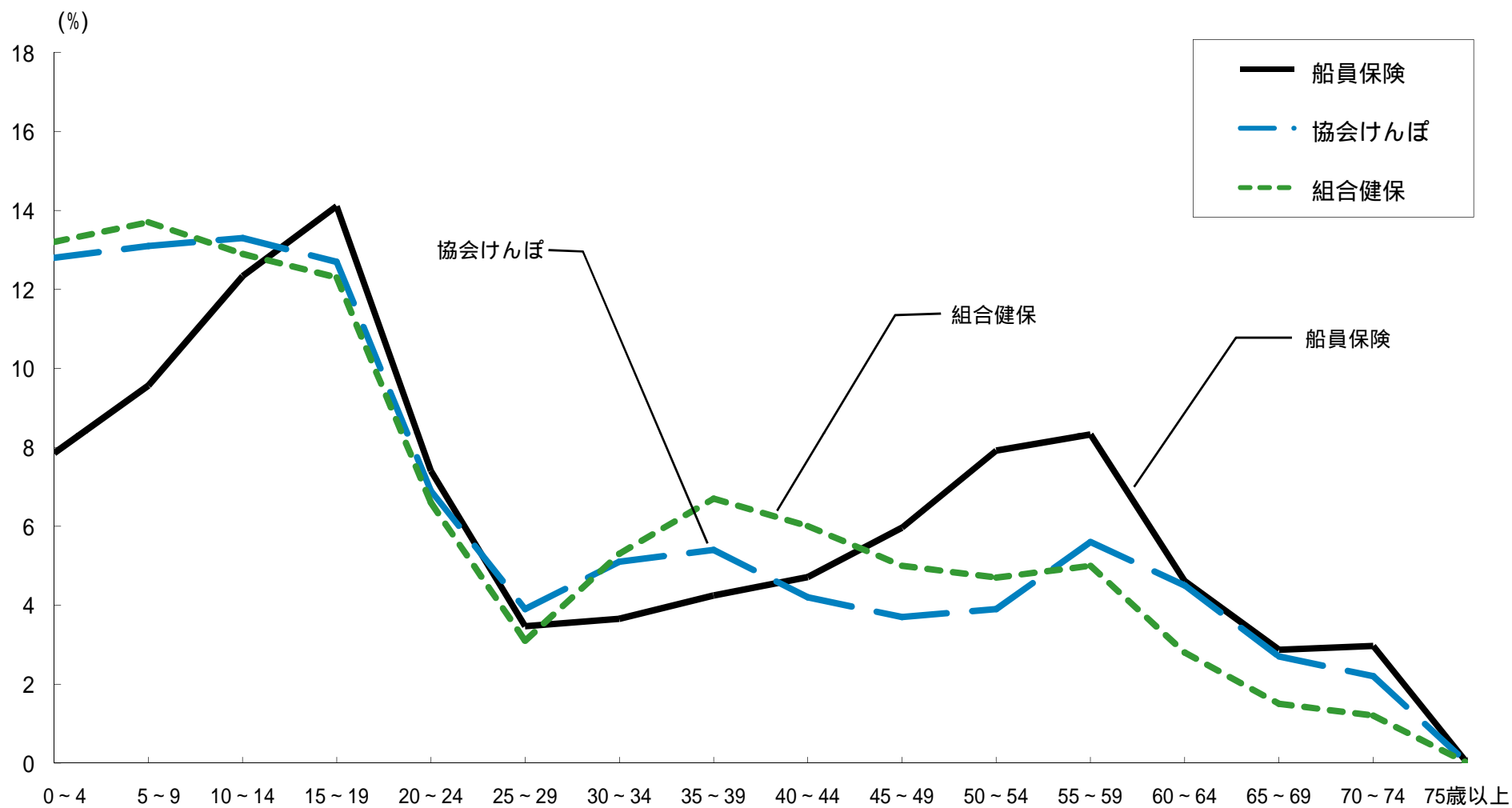
(注2) 協会けんぽ及び組合健保は平成20年10月1日現在である。

# 船員保険被保険者の年齢構成の推移



(注) 平成3年は疾病任意継続被保険者を含んだ構成比になっている。

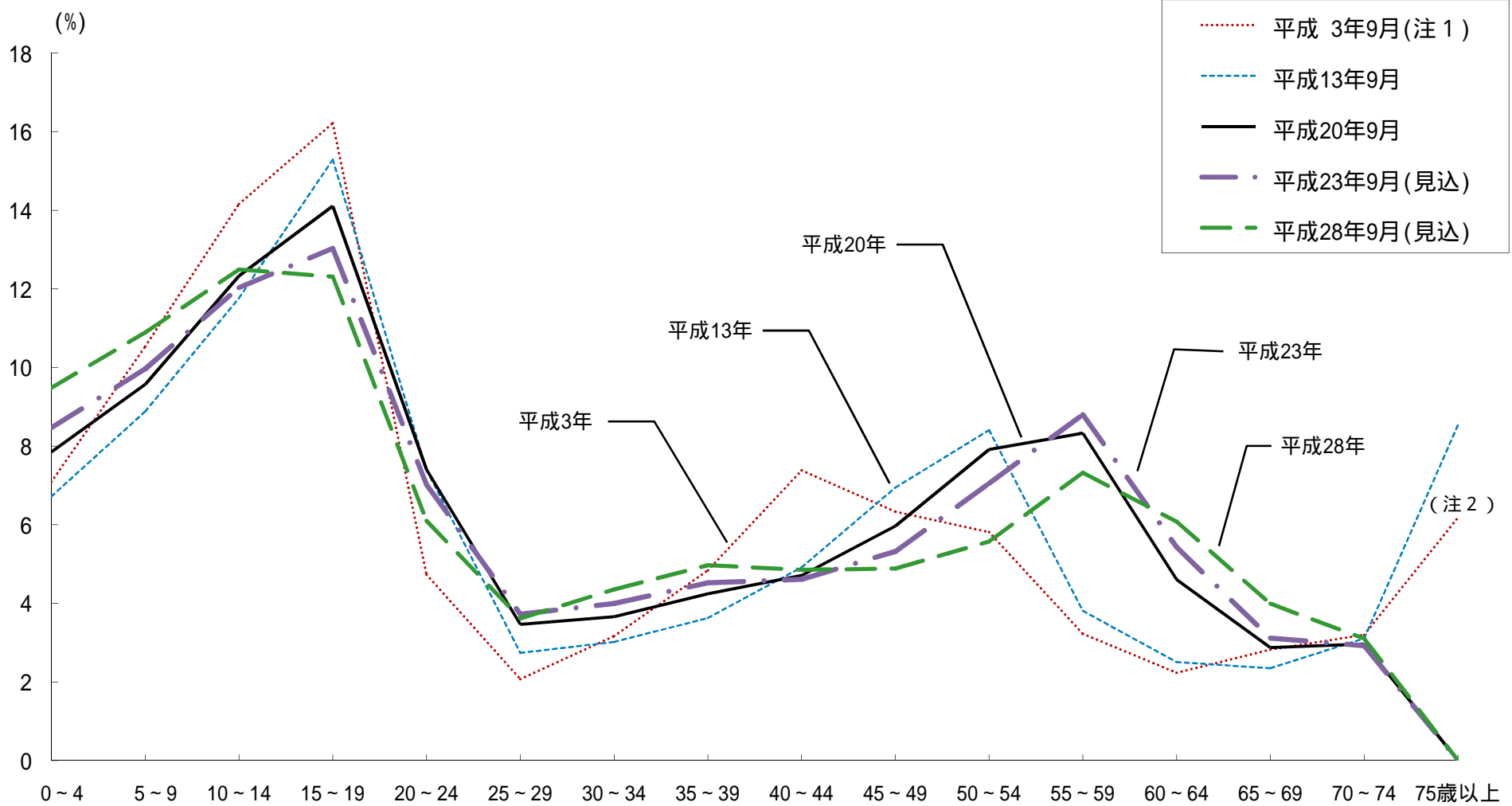
### 制度別被扶養者の年齢構成の比較



(注1) 船員保険は平成20年9月末日現在である。

(注2) 協会けんぽ及び組合健保は平成20年10月1日現在である。

## 船員保険被扶養者の年齢構成の推移



(注1) 平成3年は疾病任意継続被保険者の被扶養者を含んだ構成比となっている。

(注2) 平成3年及び平成13年は75歳以上の被扶養者を含んでいる。

# 年齢別取得喪失による増減率等の推移

< 参考 4 >

